

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 サンウッド
 コード番号 8903 URL <http://www.sunwood.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 義実
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 岡本 真人
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5425-2661

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,267	△29.9	△249	—	△362	—	△349	—
25年3月期第3四半期	6,091	△4.7	925	—	817	—	742	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△88.77	—
25年3月期第3四半期	194.84	193.52

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第3四半期	9,231	617.64	2,985	32.2		
25年3月期	8,083	733.24	2,826	34.6		

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 2,970百万円 25年3月期 2,793百万円

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	10.7	350	△50.1	220	△61.2	200	△50.9	48.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	4,894,000 株	25年3月期	3,894,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	83,844 株	25年3月期	83,800 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	3,937,458 株	25年3月期3Q	3,808,302 株
----------	-------------	----------	-------------

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の当第3四半期累計期間における経営成績は以下のとおりとなりました。

主要セグメントである不動産事業におきましては、「サンウッド赤坂氷川」「サンウッド中野上ノ原」「サンウッド三田綱町」の一部の住戸等を引渡しました。これにより、不動産事業売上高は39億9百万円となりました。その他の事業におきましては、リノベーション事業やリフォーム事業に係る売上、不動産販売に係る仲介手数料、賃貸収入等を中心にその他の事業売上高は3億5千8百万円となりました。その結果、売上高は42億6千7百万円(前年同期比29.9%減)となりました。

一方、利益面では、売上原価が35億2千8百万円、販売費及び一般管理費が9億8千9百万円となりましたため、営業損失として2億4千9百万円(前年同期は営業利益9億2千5百万円)を計上しました。また、4百万円を営業外収益として、支払利息及び株式交付費により1億1千7百万円を営業外費用として計上しました結果、経常損失は3億6千2百万円(前年同期は経常利益8億1千7百万円)となりました。これに特別利益として新株予約権戻入益1千7百万円を加え、特別損失2百万円及び法人税等合計を差し引いた結果、四半期純損失は3億4千9百万円(前年同期は四半期純利益7億4千2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は92億3千1百万円となり、前事業年度末に比べ11億4千8百万円増加しました。これは主に棚卸資産が16億4千2百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は62億4千5百万円となり、前事業年度末に比べ9億8千9百万円増加しました。これは主に前受金が6億8千3百万円増加したこと、及び新規事業用地の取得等に伴い借入金が4億5千5百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は29億8千5百万円となり、前事業年度末に比べ1億5千9百万円増加しました。これは主に四半期純損失3億4千9百万円を計上したものの、新株式の発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ3億2千万円増加したことによるものであります。自己資本比率は32.2%となり、前事業年度末比2.4ポイント減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における「現金及び現金同等物」(以下「資金」という。)は9億9千2百万円となり、前事業年度末に比べ7億1千7百万円減少しました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は15億6百万円(前年同期は12億3千5百万円の取得)となりました。これは、四半期純損失の計上、棚卸資産の増加により資金が減少したことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は1億5千1百万円(前年同期比82.1%増)となりました。これは、定期預金の預入による支出により資金が減少したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において財務活動の結果取得した資金は9億3千9百万円(前年同期比40.3%増)となりました。これは、借入金の増加により資金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業務予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に「平成25年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,710,020	1,153,076
売掛金	5,793	7,969
販売用不動産	1,124,593	2,714,711
仕掛品	4,635,921	4,688,105
役員に対する短期貸付金	82,598	47,500
未収入金	12,081	60,254
その他	31,158	41,552
流動資産合計	7,602,166	8,713,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	155,125	157,932
減価償却累計額	△19,620	△22,718
建物及び構築物(純額)	135,504	135,214
工具、器具及び備品	19,260	15,846
減価償却累計額	△13,695	△11,849
工具、器具及び備品(純額)	5,565	3,996
土地	139,564	150,987
リース資産	2,725	—
減価償却累計額	△2,498	—
リース資産(純額)	227	—
有形固定資産合計	280,862	290,198
無形固定資産	4,539	6,213
投資その他の資産		
投資有価証券	13,017	13,012
その他	182,433	209,049
投資その他の資産合計	195,451	222,062
固定資産合計	480,853	518,474
資産合計	8,083,020	9,231,643

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	787,647	778,652
短期借入金	404,950	246,834
1年内返済予定の長期借入金	2,690,000	2,758,000
未払法人税等	69,598	4,139
前受金	31,834	715,526
引当金	139,290	21,555
その他	127,812	169,111
流動負債合計	4,251,133	4,693,820
固定負債		
長期借入金	900,000	1,446,000
引当金	89,619	67,521
その他	15,690	38,486
固定負債合計	1,005,310	1,552,007
負債合計	5,256,443	6,245,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,817	1,587,317
資本剰余金	1,114,220	1,434,720
利益剰余金	480,505	16,662
自己株式	△67,734	△67,762
株主資本合計	2,793,808	2,970,936
新株予約権	32,768	14,878
純資産合計	2,826,576	2,985,815
負債純資産合計	8,083,020	9,231,643

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,091,656	4,267,825
売上原価	4,400,480	3,528,647
売上総利益	1,691,175	739,178
販売費及び一般管理費	765,179	989,131
営業利益又は営業損失(△)	925,996	△249,953
営業外収益		
受取利息	2,514	1,420
違約金収入	—	2,400
新株予約権戻入益	1,082	—
その他	1,739	605
営業外収益合計	5,337	4,425
営業外費用		
支払利息	113,658	74,945
株式交付費	—	42,454
営業外費用合計	113,658	117,399
経常利益又は経常損失(△)	817,675	△362,927
特別利益		
新株予約権戻入益	—	17,889
特別利益合計	—	17,889
特別損失		
固定資産除却損	734	2,781
特別損失合計	734	2,781
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	816,940	△347,819
法人税、住民税及び事業税	74,931	1,717
法人税等合計	74,931	1,717
四半期純利益又は四半期純損失(△)	742,008	△349,537

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	816,940	△347,819
減価償却費	6,432	8,283
引当金の増減額 (△は減少)	△13,458	△139,832
受取利息及び受取配当金	△2,514	△1,420
支払利息	113,658	74,945
売上債権の増減額 (△は増加)	△30,476	△2,175
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△806,121	△1,590,118
仕掛品の増減額 (△は増加)	334,978	△52,183
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,493,298	△8,995
前受金の増減額 (△は減少)	△473,524	683,692
その他	△80,746	3,154
小計	1,358,466	△1,372,469
利息及び配当金の受取額	91	1,304
利息の支払額	△120,655	△74,554
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,265	△60,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,235,638	△1,506,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△167,000
定期預金の払戻による収入	—	6,000
有形固定資産の取得による支出	△3,346	△5,796
貸付けによる支出	—	△35,000
貸付金の回収による収入	17,561	70,098
敷金の差入による支出	—	△14,918
敷金の回収による収入	22,361	320
その他	△119,770	△5,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,195	△151,496
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	556,450	△158,116
長期借入れによる収入	1,840,000	2,470,000
長期借入金の返済による支出	△1,680,000	△1,856,000
株式の発行による収入	—	598,545
配当金の支払額	△44,065	△112,928
リース債務の返済による支出	△2,790	△1,811
その他	0	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	669,594	939,662
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,822,037	△717,943
現金及び現金同等物の期首残高	1,124,589	1,710,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,946,626	992,076

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年11月27日付で株式会社タカラレーベンを割当先とした第三者割当による新株式（普通株式）を発行し、総額641,000千円の払込を受けたことから、資本金が320,500千円、資本準備金が320,500千円増加し、資本金が1,587,317千円、資本準備金が936,117千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計
	不動産事業		
売上高			
外部顧客への売上高	5,946,503	145,153	6,091,656
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,946,503	145,153	6,091,656
セグメント利益	1,637,522	53,653	1,691,175

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リフォーム、不動産仲介、賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計
	不動産事業		
売上高			
外部顧客への売上高	3,909,200	358,624	4,267,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,909,200	358,624	4,267,825
セグメント利益	657,751	81,426	739,178

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リノベーション、リフォーム、不動産仲介、賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。